

訪問日：令和 8年 4月 1日

3Rアドバイスレポート

東京都環境局
公益財団法人東京都環境公社

●このレポートでは、東京都環境局が都内事業者の再利用計画書を収集・分析したデータを基に評価を行っています。

●前述のデータから自動で算定している箇所は以下の通りです。

▶ベンチマーク評価（発生量評価・再利用率評価）

※取組評価は、訪問時のヒアリング結果を踏まえたものです。

▶次年度目標の数値(レポートP.2,3 右上)、目標発生量及び目標再利用率(レポートP.2,3 中段)

●ご不明な点は公益財団法人東京都環境公社 3Rアドバイザー事業担当までお問い合わせください。

TEL：03-6666-9142

建物概要

建物所在地：墨田区

建築物所有者等	株式会社プラスチック
建築物名称	株式会社プラスチック本社ビル
建物延床面積	10,492 m ²
主な用途区分	①事務所

廃棄物及び資源物の発生量と再利用量

実績年度	発生量	再利用量	再利用率
令和 7 年度	65.65トン	55.45トン	84.5%

ベンチマーク評価

※延床面積と建物使用用途が同等の都内事業者さまの実績と比較しています。

発生量評価	再利用率評価	取組評価	総合レベル
C	A	A	B

発生量評価

▶詳細はレポートP.2へ

もう少し取組ができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

再利用率評価

▶詳細はレポートP.3へ

大変よく取り組まれています。S評価目指して、取組を推進してください。

取組評価

▶詳細はレポートP.4へ

大変よく取り組まれています。S評価目指して、取組を推進してください。

発生量評価

令和 7 年度	
評価	発生量
C	65.65トン
	原単位
	6.257 kg/m ²



次年度目標	
評価	発生量
B	58.3トン
	原単位
	5.560 kg/m ²

発生量全体の評価はC評価となります。もう少し取組ができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

廃棄物種類別にみると、他の事業所に比べ、⑦その他紙類の発生量抑制が優れています。

次年度はB評価目指して、特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。③雑誌等⑤段ボール⑩飲料用びん⑪飲料用缶⑫ペットボトル⑮廃プラスチック類は他の事業所よりも発生量が多くなっています。発生抑制ができないか、検討してみましょう。

他の事業所に比べて発生量抑制の取組が非常に良くできている項目です。

⑦その他紙類	—	—	—	—
A評価	—	—	—	—

他の事業所に比べて発生量が多い項目です。

評価を上げられるように発生量削減の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度発生量	▶	目標発生量
③雑誌等	E	5.400 トン	▶	5.015 トン
⑤段ボール	E	17.700 トン	▶	7.040 トン
⑩飲料用びん	E	3.200 トン	▶	1.070 トン
⑪飲料用缶	E	5.400 トン	▶	2.455 トン
⑫ペットボトル	E	7.950 トン	▶	6.012 トン

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	D	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	***
②機密文書類	***	⑩飲料用びん	E
③雑誌等	E	⑪飲料用缶	E
④新聞、チラシ	***	⑫ペットボトル	E
⑤段ボール	E	⑬食用油	***
⑥ミックスペーパー	***	⑭弁当がら	***
⑦その他紙類	A	⑮廃プラスチック類	E
⑧厨芥類	C	⑯その他不燃物（廃プラを除く）	***

***：発生量ゼロ

再利用率評価

令和 7 年度		次年度目標	
評価	再利用率	評価	再利用率
A	84.5%	S	95.0%

再利用率全体の評価はA評価となります。大変よく取り組まれています。S評価目指して、取組を推進してください。

廃棄物種類別にみると、他の事業所に比べ、①コピー用紙・OA用紙③雑誌等⑤段ボール⑩飲料用びん⑪飲料用缶⑫ペットボトル⑮廃プラスチック類の再利用率が優れています。

次年度はS評価目指して、取組を推進してください。⑧厨芥類は他の事業所よりも再利用率が低くなっています。再利用率を増やせないか、検討してみましょう。

他の事業所に比べて再利用の取組が非常に良くできている項目です。

①コピー用紙・OA用紙	③雑誌等	⑤段ボール	⑩飲料用びん	⑪飲料用缶
S評価	S評価	S評価	S評価	S評価

他の事業所に比べて再利用率が低い項目です。

評価を上げられるように再利用の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度再利用率		目標再利用率
－	－	－ %	▶	－ %
⑧厨芥類	E	0.0 %	▶	20 %
－	－	－ %	▶	－ %
－	－	－ %	▶	－ %
－	－	－ %	▶	－ %

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	S	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	***
②機密文書類	***	⑩飲料用びん	S
③雑誌等	S	⑪飲料用缶	S
④新聞、チラシ	***	⑫ペットボトル	S
⑤段ボール	S	⑬食用油	***
⑥ミックスペーパー	***	⑭弁当がら	***
⑦その他紙類	E	⑮廃プラスチック類	S
⑧厨芥類	E	⑯その他不燃物（廃プラを除く）	***

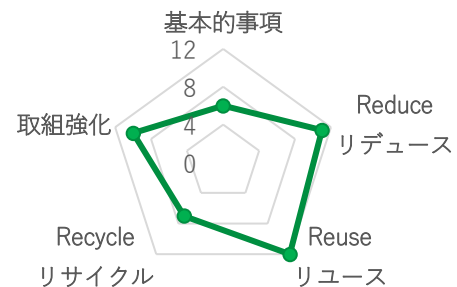
***：発生量ゼロ

取組評価

取組実施状況①

基本的事項	評価
Reduce リデュース	評価
Reuse リユース	評価
Recycle リサイクル	評価
取組強化	評価
	総合評価

B
S
S
B
A
A



実施状況（概要）

- 産業廃棄物保管場所の掲示板が設置されている
- 臭気や汚水の漏洩がない
- ごみ種別の区分や表示が適切にされている
- プラスチック類の3Rについて、取組をしている
- 紙類の3Rについて、取組をしている
- 食品廃棄物の3Rについて、取組をしている
(防災備蓄食品の取組も含む)

▶	×
▶	○
▶	△
▶	○
▶	○
▶	△

良い取組や評価できる点

- 食堂では、フードロス削減の取組として、ご飯の量を大盛・中盛・小盛から選択できるようにしており、食べ残しの削減に取り組んでいる。
- 社内でのごみの分別意識が浸透するように、定期的にごみの発生量を社員全員に通知している。
- 不要になった備品、什器類は、必要とする他部局へ斡旋している。

改善が必要な点・懸念点等

- 基本的事項：産業廃棄物保管場所に廃掃法に準じた、掲示板設置を依頼。
- リデュース：燃えるごみ箱の中に雑紙が混入していたため、燃えるごみ箱の横に雑紙用回収ボックスの設置を推奨。
- リサイクル：廃プラスチックの処理は、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの移行を推奨。
- 取組強化：廃棄物管理責任者として、自ら定期的にごみ箱の分別状況を確認することや、二次分別を実施することの重要性を説明。